

2022年3月期 決算説明会 質疑応答の内容

日時：2022年5月23日（月）13：00～14：00

場所：プロトコーポレーション本社（WEB 配信）

代表取締役社長 神谷 健司

経理・財務部門 執行役員 鈴木 毅人

経理財務部 IR 森 蒼葉

※決算説明会における質疑応答の内容です。当該内容については、ご理解頂きやすいよう部分的に加筆・修正しています。

・ 新車、中古車業界における動向と当社への影響について

- Q. 昨今の新車供給の滞りやそれに伴う中古車価格の上昇などが、業績にどのように影響を及ぼしているのか。
- A. 新車の供給に関しては依然滞っており、今後の見通しも不確かになっている。当社から見える状況をお伝えすると、概ね受注から納車まで3ヶ月～4ヶ月、長いと半年、人気車種によっては1年先という場合もある。このような状況が長く続いており、新車購入を検討されている方からすると今申し込みをしておかなければいつ納車されるかわからないということから、新車の受注という部分については、これまでと変わらない形で活動されている販売店が大半。よって、当社における新車領域へのマイナス影響というのは特段ない。中古車領域においても、中古車価格は高止まりしているが、これは業界全体のことであり、特段当社の事業においてマイナスになっているということはない。しかし、昨今の状況が長期化することによる中古車流通の滞りや中古車販売台数の落ち込みなどが、直接、間接的に影響を及ぼす可能性を否定は出来ない。このような懸念もあるが、現時点においては昨今の状況が定着化しつつあることもあり、特段不安になることはないと思っております。

・ 新中期3ヶ年計画（2023年3月期～2025年3月期）における営業利益の成長イメージについて （決算説明会資料 P.39）

- Q. 営業利益の計画が2023年3月期は65億円、2024年3月期は69億円とほぼ横ばいだが、2025年3月期に100億円と急伸する要因を教えてください。
- A. 2023年に中古車販売における総額表示義務化、2024年に整備業界における車検制度の変更という業界の大きな変化が起きる。2025年3月期に営業利益が傾斜している1番の要因は、これらの変化に対して当社が提供するサービスが導入実績としてカウントされるのは少しずつだと予測したこと。勿論、中期3ヶ年計画策定時に各領域における投資については考えて計画を立てているが、特に時期については計画が難しい面がある。業界の変化と導入実績のタイミングが重なると予測したのが2025年3月期であるということで、ご理解頂きたい。

・ **中古車業界における変化と当社サービスについて**

Q. 中古車販売における総額表示義務化に伴う新しいサービスについて、可能な範囲で教えてほしい。

A. 具体的な回答は控えさせて頂くが、MOTOR GATE に求められる機能やグーネット上で掲出する情報の内容がより深いものになっていくとご理解頂ければと思う。グーネット上に掲出する情報が深くなればなるほど、中古車購入を検討するユーザーから販売店への問い合わせが少なくなり、それによって販売店の業務負荷軽減に寄与することも出来ると考えている。また、中古車販売方法の変化という面でも、中古車業界においては変化が現れると考えており、2021年6月にリリースしたクルマのリースやサブスクリプションを比較検討出来る「グーネット定額乗り」の一部についても改善を図っている。以上の通り、広く業界の皆様にご活用いただけるような新たな価値創造、サービスの創出を引き続き行っていきたいと考えている。
